

奈良市公報

号外第4号

平成23年 2月25日印刷発行
発行所 奈良市役所
発行人 奈良市長
編集人 文書法制課長
印刷所 関西印刷株式会社

目次

告示

- 財政状況の公表…………… 1
- 公営企業の業務状況の公表…………… 4

告示

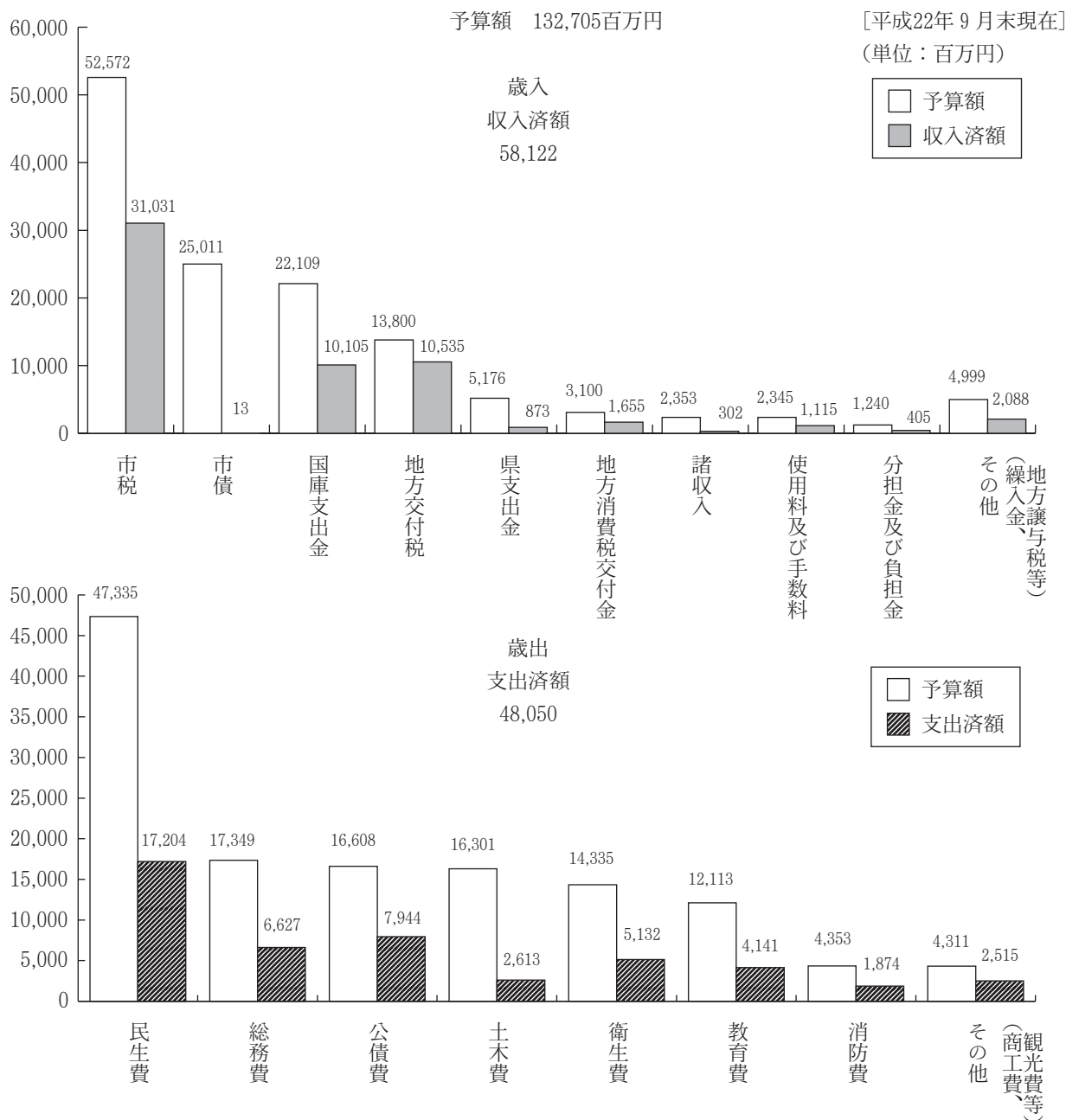
奈良市告示第582号

奈良市財政状況の公表に関する条例（昭和61年奈良市条例第2号）の規定により、平成22年9月30日現在の本市の財政状況を次のとおり公表します。

平成22年12月1日

奈良市長 仲川元庸

1 平成22年度一般会計予算執行の状況



2 平成22年度特別会計予算執行の状況

[平成22年9月末現在]
(単位：百万円)

会 計	予 算 額	収入済額	支出済額
下水道事業費特別会計	10,350	1,186	4,323
住宅新築資金等貸付金特別会計	662	11	645
国民健康保険特別会計	33,714	11,273	15,392
老人保健特別会計	24	10	0
土地区画整理事業特別会計	2,567	2	855
市街地再開発事業特別会計	364	0	182
公共用地取得事業特別会計	390	0	196
駐車場事業特別会計	324	44	156
介護保険特別会計	20,795	7,331	8,494
母子寡婦福祉資金貸付金特別会計	57	100	32
針テラス事業特別会計	271	20	216
簡易水道事業特別会計	550	70	250
後期高齢者医療特別会計	4,399	1,390	1,374

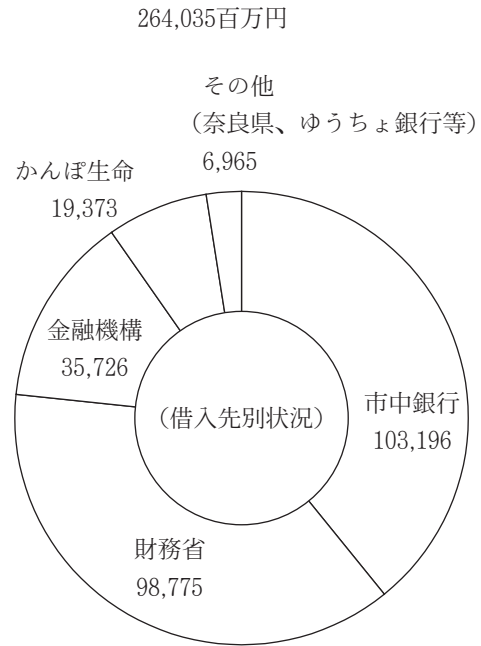
3 平成22年度公営企業会計予算執行の状況

[平成22年9月末現在]
(単位：百万円)

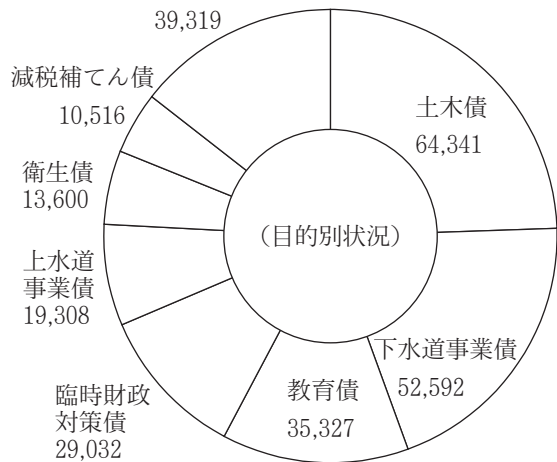
会計	項目	収益的収支		資本的収支	
		収入	支出	収入	支出
宅地造成事業費特別会計	予算額	1,583	52	0	1,581
	実績額	10	1	0	2
水道事業会計	予算額	8,555	8,458	2,924	6,096
	実績額	4,306	3,559	1,623	3,099
病院事業会計	予算額	6,715	6,741	866	938
	実績額	3,629	3,449	41	77

4 市債の現在高

[平成22年9月末現在]
(単位：百万円)



その他 (退職手当債、民生債等)



5 一時借入金の状況

[平成22年9月末現在]
(単位：百万円)

一般会計	0
特別会計	0
公営企業会計	2,577

6 市有財産の状況

[平成22年9月末日現在]

土地	6,753千㎡
建物	1,096千㎡
有価証券、出資による 権利及び債権	2,560百万円
基金	9,181百万円

7 人口等

[平成22年9月末日現在]

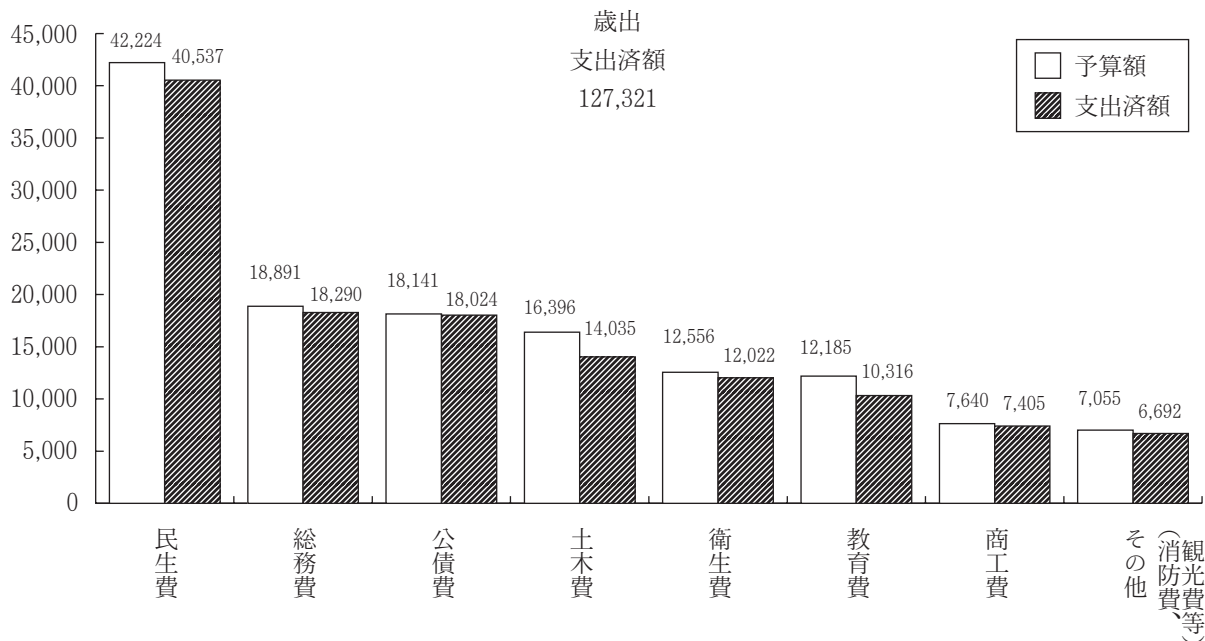
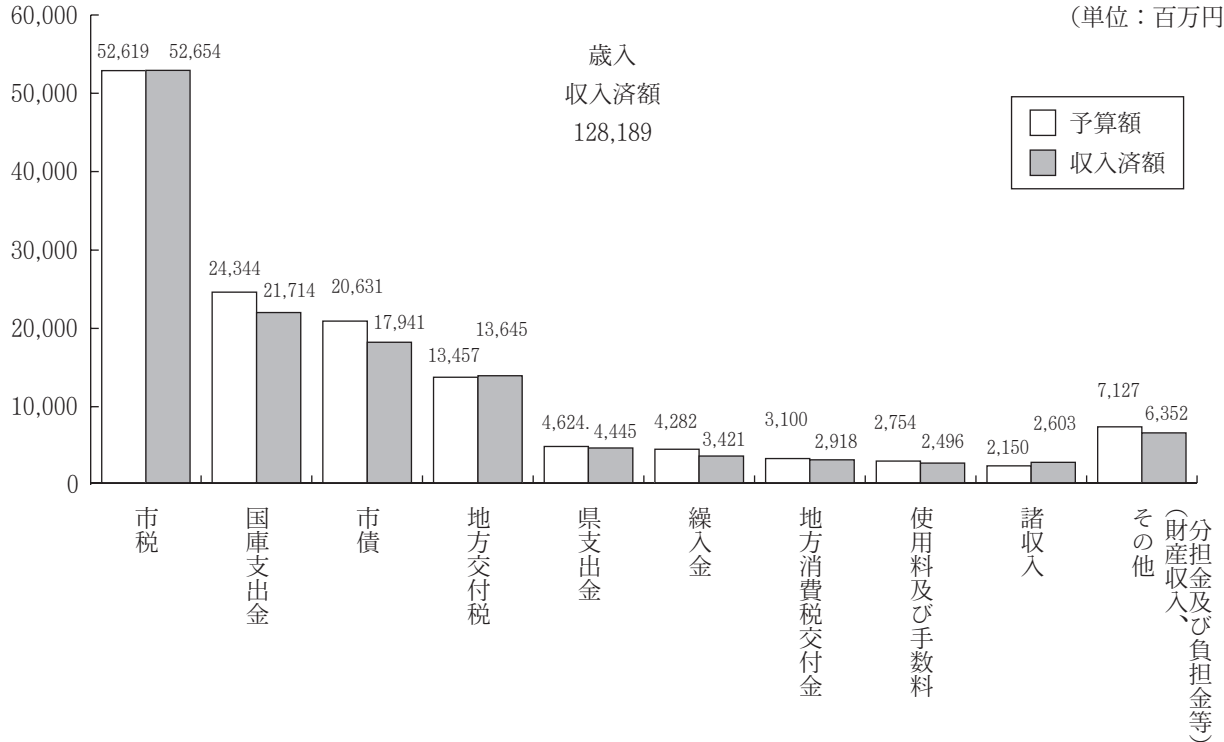
人口	368,296人
世帯数	154,323世帯
面積	276.84k㎡

1 平成21年度一般会計決算の状況

予算額 135,088百万円

[平成21年度決算]

(単位：百万円)



2 平成21年度特別会計予算執行の状況

[平成21年度決算]
(単位：百万円)

会 計	予 算 額	収入済額	支出済額
下水道事業費特別会計	11,570	10,869	10,869
住宅新築資金等貸付金特別会計	668	40	665
国民健康保険特別会計	34,770	32,299	32,601
老人保健特別会計	42	38	32
土地区画整理事業特別会計	2,670	1,878	1,876
市街地再開発事業特別会計	369	369	369
公共用地取得事業特別会計	411	408	408
駐車場事業特別会計	328	326	326
介護保険特別会計	19,991	19,193	19,054
母子寡婦福祉資金貸付金特別会計	51	108	20
針テラス事業特別会計	229	50	217
簡易水道事業特別会計	853	767	766
後期高齢者医療特別会計	3,955	3,794	3,772

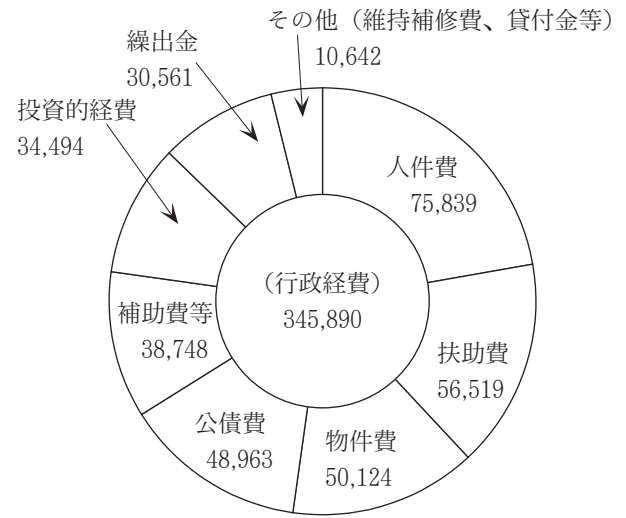
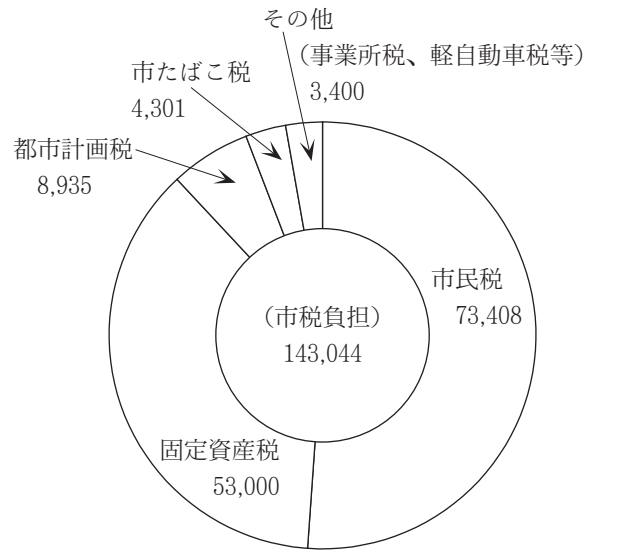
3 平成21年度公営企業会計予算執行の状況

[平成21年度決算]
(単位：百万円)

会計	項目	収益的収支		資本的収支	
		収入	支出	収入	支出
宅地造成事業費特別会計	予算額	519	507	0	54
	実績額	461	450	0	8
水道事業会計	予算額	8,833	8,430	4,097	7,093
	実績額	8,755	8,033	3,769	6,287
病院事業会計	予算額	6,892	6,891	200	352
	実績額	6,675	6,672	196	347

4 市民1人当たりの状況（一般会計）

[平成21年度決算]
(単位：円)



(平成22年12月1日揭示済)

奈良市告示第583号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、平成22年4月1日から平成22年9月30日までの間における奈良市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

平成22年12月1日

奈良市長 仲川 元 庸

平成22年度上半期奈良市宅地造成事業説明書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

1 事業の概況について

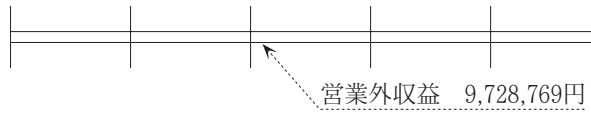
(1) 業務について

- ア 土地購入量
購入・無
- イ 売却処分
売却・無

2 経理の状況について

(1) 財政収支

・収益的収入 9,728,769円



営業収益 0円

特別利益 0円

・収益的支出 643,633円



営業外費用 364,757円

営業費用 278,876円

特別損失 0円

収益的収支 9,085,136円

・資本的支出 1,620,269円



雑支出 1,214,969円

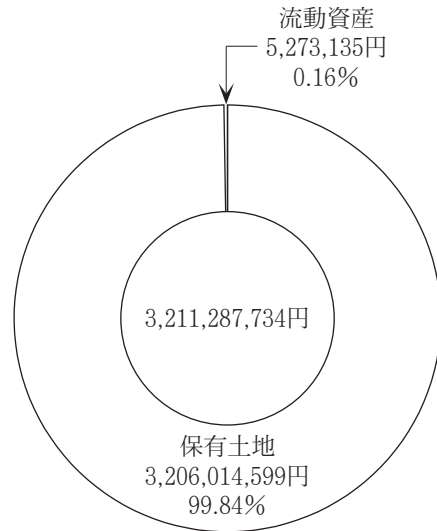
管理費 405,300円

造成費 0円

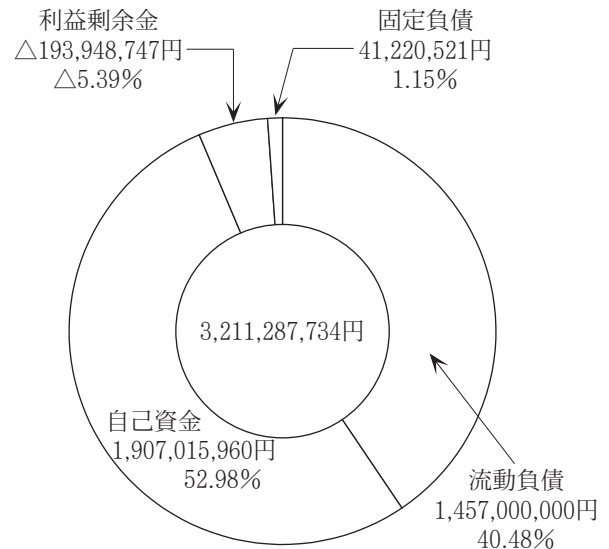
資本的収支 △1,620,269円

(2) 貸借対照表

ア 資産の部



イ 負債・資本の部

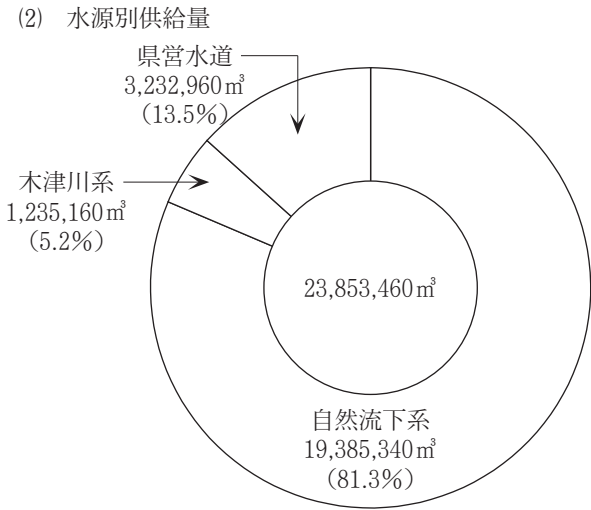


平成22年度上半期奈良市水道事業説明書
(平成22年 4月 1日～平成22年 9月30日)

1 事業の概要

(1) 業務について

区 分	平成22年度上半期	平成21年度上半期	増 減	伸 び 率
給 水 人 口	359,605人	359,792人	△187人	△0.05%
給 水 戸 数	164,354戸	163,397戸	957戸	0.59%
給 水 量	23,853,460m ³	24,003,230m ³	△149,770m ³	△0.62%
1 日 最 大 給 水 量	154,300m ³	152,730m ³	1,570m ³	1.03%
1 日 平 均 給 水 量	129,638m ³	130,452m ³	△814m ³	△0.62%
1 人 1 日 最 大 給 水 量	429 ℓ	424 ℓ	5 ℓ	1.18%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	361 ℓ	363 ℓ	△ 2 ℓ	△0.55%



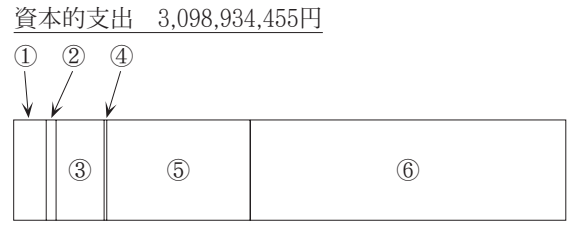
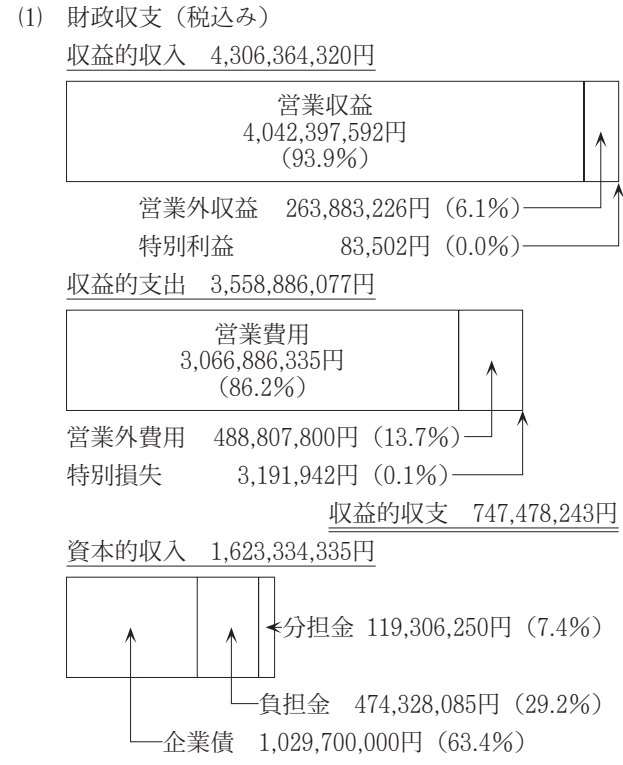
(3) 建設事業について

ア 配水施設整備費
奈良市第3次総合計画後期基本計画に基づき、施設整備事業の推進として市内右京二丁目～右京三丁目地内口径800耗配水本管布設工事他1件を施行中です。

イ 施設費
奈良市第3次総合計画後期基本計画に基づく老朽施設の更新として、緑ヶ丘浄水場中央計装室の空調設備整備工事を施行しました。
現在、木津浄水場の取水ポンプ2号更新工事他5件の設備更新工事等を施行中です。

ウ 配水施設改良費
市内神功二丁目～神功四丁目地内口径300～150耗配水支管改良工事他10件を県街路事業との随伴も含め、施行中です。

2 経理の状況



① 施設整備事業費	182,358,963円 (5.9%)
② 施設費	54,989,761円 (1.8%)
③ 配水施設改良費	268,652,081円 (8.7%)
④ 固定資産取得費	12,308,395円 (0.4%)
⑤ 企業債償還金	807,571,590円 (26.0%)
⑥ 長期割賦金	1,773,053,665円 (57.2%)

資本的収支 △1,475,600,120円

財政状況について

平成22年度上半期財政状況の収益的収支では、収入額4,306,364,320円、支出額3,558,886,077円となり、747,478,243円の純利益を計上しております。一方、資本的収支では、収入額1,623,334,335円、支出額3,098,934,455円、差引1,475,600,120円の不足額を生じましたが、この不足額は留保資金等で補てんしました。

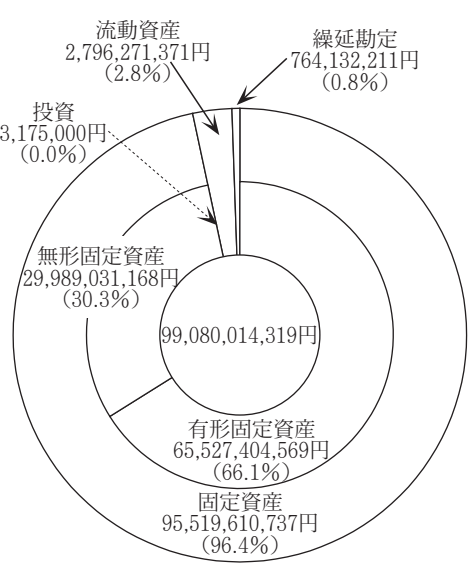
平成22年度も、災害対策等の推進や鉛給水管の解消対策などを重点事業として取り組んでいます。

財政状況としては、有収水量は前年度と同程度で推移し、水道料金収入はわずかながら増収が見込まれ、ダム建設費割賦負担金の借換や県営水道受水量の削減など経費の節減と合わせ、健全財政を維持しています。

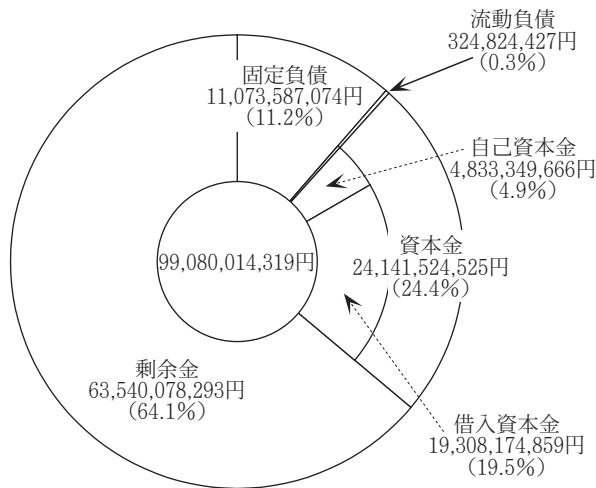
下半期においても、企業努力を重ねる財政状況の一層の向上を図るとともに、計画的な建設改良事業の施行に努め安心して安全な水道を供給してまいります。

(2) 貸借対照表

ア 資産の部



イ 負債・資本の部



(3) 企業債

発行総額 25,648,600,000円
償還額 6,340,425,141円
未償還残高 19,308,174,859円

平成22年度上半期市立奈良病院事業報告書
(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

1 事業の概況

平成22年度上半期の病院事業の概況を報告いたします。

4 業務に関する事項

(1) 入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	1日平均	構成比率
内科	140	36	125	91	62	87	541	2.96	1.2%
神経内科	901	909	814	814	932	788	5,158	28.19	11.7%
呼吸器科	321	278	226	326	373	300	1,824	9.97	4.1%
消化器科	853	922	1,001	990	879	887	5,532	30.23	12.6%
循環器科	409	431	390	402	439	463	2,534	13.85	5.8%
小児科	299	385	353	266	306	300	1,909	10.43	4.3%
外科	1,085	922	962	1,111	1,127	965	6,172	33.73	14.0%
整形外科	1,110	985	1,055	1,248	1,201	1,227	6,826	37.30	15.5%
脳神経外科	510	529	587	537	498	523	3,184	17.40	7.2%
皮膚科	45	70	28	60	47	80	330	1.80	0.8%
泌尿器科	109	110	171	147	239	126	902	4.93	2.1%
産婦人科	651	731	717	587	770	810	4,266	23.31	9.7%
眼科	160	175	300	271	163	231	1,300	7.10	3.0%
耳鼻いんこう科	134	93	95	168	119	109	718	3.92	1.6%
リハビリテーション科									
放射線科									
麻酔科									

市立奈良病院は、開院5年10か月を経過し、市民に信頼される病院として、市民が安心して暮せる医療体制づくりに努めてまいりました。現在、「市立奈良病院建設基本構想」に基づき新病院の建設計画を進めており、昨年度基本設計及び実施設計を終え、今年度中には第一期工事着工に向け準備を進めているところです。

業務量につきましては、入院患者数43,955人、外来患者数で97,080人、合計141,035人となりました。

収益的収支の状況であります。収入総額3,629,141,543円となっております。一方支出につきましては、支出総額3,448,565,578円となっております。

次に、資本的収支の状況であります。収入総額は40,724,965円、支出総額は77,359,667円となっております。

今後も、地域の関係機関との連携を進め、より良い医療サービスの提供に努めることにより、市民に信頼され、愛される病院を目指してまいります。

2 議会議決事項

(イ) 平成21年度市立奈良病院事業会計決算認定について
(平成22年9月22日認定)

3 職員に関する事項

病院事業課	職員数
	3人

(平成22年9月30日現在)

(総合診療科)	397	454	424	460	586	438	2,759	15.08	6.3%
合計	7,124	7,030	7,248	7,478	7,741	7,334	43,955	240.19	100.0%

(2) 外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	1日平均	構成比率
内科	558	462	587	599	528	595	3,329	22.19	3.4%
神経内科	837	758	800	860	782	950	4,987	33.25	5.1%
呼吸器科	376	376	388	396	389	375	2,300	15.33	2.4%
消化器科	1,545	1,316	1,578	1,528	1,565	1,551	9,083	60.55	9.4%
循環器科	1,285	1,203	1,242	1,274	1,264	1,303	7,571	50.47	7.8%
小児科	1,098	1,190	1,186	1,063	1,025	942	6,504	43.36	6.7%
外科	1,352	1,235	1,251	1,433	1,434	1,402	8,107	54.05	9.1%
整形外科	1,856	1,754	1,956	1,967	2,053	1,979	11,565	77.10	11.9%
脳神経外科	789	736	789	800	756	801	4,671	31.14	4.8%
皮膚科	987	923	1,034	1,032	1,068	986	6,030	40.20	6.2%
泌尿器科	597	604	642	710	632	691	3,876	25.84	4.0%
産婦人科	893	835	971	922	947	923	5,491	36.61	5.7%
眼科	1,292	1,185	1,343	1,308	1,290	1,247	7,665	51.10	7.9%
耳鼻いんこう科	1,052	987	1,064	983	1,044	998	6,128	40.85	6.3%
リハビリテーション科									
放射線科	313	270	361	300	327	282	1,853	12.35	1.9%
麻酔科									
(総合診療科)	1,311	1,285	1,360	1,335	1,448	1,181	7,920	52.80	8.2%
合計	16,141	15,119	16,552	16,510	16,552	16,206	97,080	647.20	100.0%

(3) 事業収支に関する事項

収入

科目	平成22年度上半期 (円)	平成21年度上半期 (円)	比較	
			増減(円)	比率(%)
病院事業収益	3,629,141,543	3,246,079,710	383,061,833	111.8
1 医業収益	3,551,411,424	3,150,390,021	401,021,403	112.7
2 医業外収益	77,730,119	95,689,689	-17,959,570	81.2

支出

科目	平成22年度上半期 (円)	平成21年度上半期 (円)	比較	
			増減(円)	比率(%)
病院事業費用	3,448,565,578	3,064,508,282	384,057,296	112.5
1 医業費用	3,438,662,700	3,054,231,027	384,431,673	112.6
2 医業外費用	9,902,878	10,277,255	-374,377	96.4

5 経理の状況

(1) 上半期の病院事業会計の予算執行状況は次のとおりであります。

(ア) 収益的収入及び支出

収入

科目	予算現額 (円)	上半期執行額 (円)	執行額累計 (円)	未執行額 (円)
病院事業収益	6,714,681,000	3,629,141,543	3,629,141,543	3,085,539,457
1 医業収益	6,514,231,000	3,551,411,424	3,551,411,424	2,962,819,576
2 医業外収益	200,450,000	77,730,119	77,730,119	122,719,881

支出

科目	予算現額 (円)	上半期執行額 (円)	執行額累計 (円)	未執行額 (円)
病院事業費用	6,741,000,000	3,448,565,578	3,448,565,578	3,292,434,422
1 医業費用	6,712,144,000	3,438,662,700	3,438,662,700	3,273,481,300
2 医業外費用	27,356,000	9,902,878	9,902,878	17,453,122
3 予備費	1,500,000	0	0	1,500,000

(イ) 資本的収入及び支出

収入

科目	予算現額 (円)	上半期執行額 (円)	未執行額 (円)
資本的収入	865,672,000	40,724,965	824,947,035
1 企業債	663,800,000	0	663,800,000
2 補助金	119,163,000	0	119,163,000
3 負担金	82,709,000	40,724,965	41,984,035

支出

科目	予算現額 (円)	上半期執行額 (円)	未執行額 (円)
資本的支出	937,700,000	77,359,667	860,340,333
1 建設改良費	784,000,000	703,468	783,296,532
2 企業債償還金	153,700,000	76,656,199	77,043,801

(2) 平成22年9月30日現在における企業債の状況は次のとおりであります。

企業債

用途内訳		病院事業 (円)
発行総額		1,123,800,000
償還高	上半期償還高	76,656,199
	償還高累計	435,760,202
未償還残高		688,039,798

(平成22年12月1日揭示済)

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。